【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公開番号】特開2013-76615(P2013-76615A)
【公開日】平成25年4月25日(2013.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2013-020
【出願番号】特願2011-216087(P2011-216087)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｓ　17/89　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｓ　17/89

【手続補正書】
【提出日】平成26年9月24日(2014.9.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項２】
前記第一領域画像と前記第二領域画像とは、前記移動物体の上空を所定の飛行方向へ飛行する飛行物体から撮像装置によって撮像して生成された画像であり、
前記撮像装置は、前記所定の飛行方向に並べられて所定の撮像周期毎に同時に撮像を行う複数の撮像部であって前記所定の撮像周期毎に前の撮像部が前回撮像した領域部分を後ろの撮像部が撮像する複数の撮像部を有し、前記複数の撮像部によって得られる複数の画像部分から成る全体画像を前記撮像周期毎に領域画像として生成し、
前記領域画像記憶部は、前記撮像装置によって特定の撮像時に生成された領域画像を前記第一領域画像として記憶し、前記撮像装置によって前記第一領域画像の次の撮像時に生成された領域画像を前記第二領域画像として記憶し、
前記ずれ量固定値記憶部は、前記撮像部毎に得られる画像部分の前記所定の飛行方向の画素数を前記ずれ量固定値として記憶する
ことを特徴とする請求項１記載の移動物体検出装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項７】
前記第一領域画像と前記第二領域画像とは、前記移動物体の上空を所定の飛行方向へ飛行する飛行物体から撮像装置によって撮像して生成された画像であり、
前記撮像装置は、前記所定の飛行方向に並べられて所定の撮像周期毎に同時に撮像を行う複数の撮像部であって前記所定の撮像周期毎に前の撮像部が前回撮像した領域部分を後ろの撮像部が撮像する複数の撮像部を有し、前記複数の撮像部によって得られる複数の画像部分から成る全体画像を前記撮像周期毎に領域画像として生成し、
前記領域画像記憶部は、前記撮像装置によって特定の撮像時に生成された領域画像を前記第一領域画像として記憶し、前記撮像装置によって前記第一領域画像の次の撮像時に生成された領域画像を前記第二領域画像として記憶し、
前記ずれ量固定値記憶部は、前記撮像部毎に得られる画像部分の前記所定の飛行方向の画素数を前記ずれ量固定値として記憶する

ことを特徴とする請求項６記載の移動物体検出プログラム。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
前記第一領域画像と前記第二領域画像とは、前記移動物体の上空を所定の飛行方向へ飛行する飛行物体から撮像装置によって撮像して生成された画像であり、
前記撮像装置は、前記所定の飛行方向に並べられて所定の撮像周期毎に同時に撮像を行う複数の撮像部であって前記所定の撮像周期毎に前の撮像部が前回撮像した領域部分を後ろの撮像部が撮像する複数の撮像部を有し、前記複数の撮像部によって得られる複数の画像部分から成る全体画像を前記撮像周期毎に領域画像として生成し、
前記領域画像記憶部は、前記撮像装置によって特定の撮像時に生成された領域画像を前記第一領域画像として記憶し、前記撮像装置によって前記第一領域画像の次の撮像時に生成された領域画像を前記第二領域画像として記憶し、
前記ずれ量固定値記憶部は、前記撮像部毎に得られる画像部分の前記所定の飛行方向の画素数を前記ずれ量固定値として記憶する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
前記第一領域画像と前記第二領域画像とは、前記移動物体の上空を所定の飛行方向へ飛行する飛行物体から撮像装置によって撮像して生成された画像であり、
前記撮像装置は、前記所定の飛行方向に並べられて所定の撮像周期毎に同時に撮像を行う複数の撮像部であって前記所定の撮像周期毎に前の撮像部が前回撮像した領域部分を後ろの撮像部が撮像する複数の撮像部を有し、前記複数の撮像部によって得られる複数の画像部分から成る全体画像を前記撮像周期毎に領域画像として生成し、
前記領域画像記憶部は、前記撮像装置によって特定の撮像時に生成された領域画像を前記第一領域画像として記憶し、前記撮像装置によって前記第一領域画像の次の撮像時に生成された領域画像を前記第二領域画像として記憶し、
前記ずれ量固定値記憶部は、前記撮像部毎に得られる画像部分の前記所定の飛行方向の画素数を前記ずれ量固定値として記憶する。